防犯カメラ設置促進について

伊藤勝美

〔質問〕防犯カメラは、今や私たちの身近にあり、さまざまな場所で普及している。小中学校周辺や主要通学路への防犯カメラの設置促進に取り組むべきと考えるが、所見を伺う。

〔答弁〕【市長】防犯カメラは、犯罪等を未然に防止する効果があることは認識をしている。

しかし、市民の立場からすると、「監視されている」とか、あるいは「プライバシーの保護は大丈夫なのか」という側面を持ち合わせている。

今後、防犯カメラの設置については、教育委員会、または各地区の意見を踏まえて、慎重に進めていくことが必要ではないかと考える。

◎全国学力テストについて

〔質問〕平成27年度の全国学力・学習状況調査、通称「全国学力テスト」の結果が公表されている。

毎年度、結果の分析や課題の改善が図られているようであるが、今年度の結果を見て、昨年度までの改善策が、どのような成果としてあらわれているのか、見解を伺う。

〔答弁〕【教育長】学力テストのための授業を行っているわけではない。改善するところは改善するということで、各学校ごとに詳しく分析をして、乖離（かいり）の大きかった教科の観点・項目・領域の補充学習等を行っている。

また、振り返り学習等についても、意識的に取り組んでいる。

◎安全保障関連法案について

〔質問〕集団的自衛権行使にかかわる安全保障関連法案が国会で審議されている。

これまでの憲法の平和主義・安全保障政策を大きく変更することにもなる法案であり、多くの国民の理解も得られていない状況ではないかと考えるが、どのような見解を持っているのか伺う。

〔答弁〕【市長】これまでの安全保障政策の転換になるということは、報道を見る限りでは感じている。

しかし、本日（9月16日）の参議院の委員会で採決を目指すという報道も出ており、これ以上の発言は差し控えたい。

【その他の質問】

◎白石版「地方創生」について

下戸沢簡易水道の水源について

管野恭子

〔質問〕小原下戸沢地区における簡易水道の水源は、近年、水量が減少し、この地区への給水車の出動回数が増加している。担当からは以前の4分の1くらいの水量と聞いている。

下戸沢地区は、県道に面して家が立ち並び、歩いて短時間で地区内を移動でき、高齢の方も近隣との交流がしやすい環境にある。

かつては参勤交代の要路、宿場町として栄えたこともあり、工夫次第で人を呼び込むことも可能であり、地方創生に繋がるものである。しかし、命の源となる水が不足する現状ではそれ以前の問題である。

早急に、安全で安定供給が可能な水源確保を検討すべきと考えるが、見解を伺う。

〔答弁〕【市長】今年4月・5月の降水量不足が原因と思われるが、7月以降は水量も回復し、水源は枯渇（こかつ）していないので、供給に長期的な支障が出ることは考えにくい。

今後も断水の場合は、給水車で対応していくが、ほかの水源確保についても調査しながら、費用対効果もあるため、住民との話し合いの中で検討していきたい。

◎図書館について

〔質問〕不特定多数の方が手に取る図書は、汚れることも多く、インフルエンザ等が流行した場合、ウイルス感染の心配が生じる。

そのため、一分以内で紫外線により殺菌消毒ができる書籍消毒機を設置する図書館が増えている。

衛生的で快適な利用のため、本市においても、ぜひ検討すべきではないか。

〔答弁〕【教育長】衛生面で一定の効果が考えられるが、導入については、その効果を調査しながら、県内の状況を見て進めていきたい。

〔質問〕本市図書館は建築から40年を経過し、老朽化、空間的な狭さを感じる現状である。いろいろな視点から、新築を検討すべき時期にあると考えるが、見解を伺う。

〔答弁〕【市長】現在、建物の改修や機械のメンテナンスなどを行い、建物の長寿命化を図っている。今後は、市の公共施設等総合管理計画を作成し、その中で将来の見通しを検討していきたい。

【その他の質問】

◎河川保全区域の公有地の有効活用について